

第 44 期

事業報告

(平成24年度)

自 平成24年 4 月 1 日  
至 平成25年 3 月31日



公益財団法人  
内藤記念科学振興財団

## 〔Ⅰ〕第44期（平成24年度）事業概要

内藤記念科学振興財団は、昭和44年4月7日付け、委大第4の1号をもって文部大臣より設立の許可を受けて、定款に定められた諸事業を開始した。平成24年4月1日から平成25年3月31日に至る第44期（平成24年度）の事業活動として、定款第3条に掲げる、「人類の疾病の予防と治療に関する自然科学」の研究を奨励し、もって学術の振興および人類の福祉に寄与することを目的として、定款第4条に基づき下記の諸事業を行った。

### 1. 第44期（平成24年度）の事業について

平成24年度は、以下の事業を実施した。

#### （1）公募事業

##### ① 科学振興賞（褒賞）

科学振興賞は、当財団が定めた日本遺伝学会ほか計27の学会（長）、並びに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼し、10件の候補を受付け、選考委員会で審査した後、理事会において受賞1件を決定した。

##### ② 科学奨励金・研究助成金

科学奨励金は、334件の候補者を受付け、100件を採択した。

##### ③ 科学奨励金・若手ステップアップ研究助成金

科学奨励金・若手ステップアップ研究助成金は、20件の候補者を受付け、3件を採択した。平成23年度よりの継続分3件を合わせ、合計6件を助成した。

##### ④ 海外学者招聘助成金

海外学者招聘助成金は、7件の候補者を受付け、7件全件を採択した。

##### ⑤ 海外研究留学助成金

海外研究留学助成金は、74件の候補者を受付け、15件を採択した。

##### ⑥ 女性研究者研究助成金

出産や育児で研究を中断した女性研究者の復職と今後の更なる研究業績向上の支援を目的として設立された。今年度は70件の候補者を受付け、20件を採択した。3年目の平成22年度継続分の5件は審査のうえ継続を決定した。平成23年度継続分の10件を合わせ、合計35件を助成した。

以上、②～⑥までの5事業については、全国の国立・公立・私立大学など688の自然科学系研究機関の長、並びに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼した。なお、④の海外学者招聘助成金については、この他に当財団が定めた27学会（長）にも推薦を依頼した。受領者の採択は、選考委員会での審査・選考を経た後、理事会で決定されたものである。

⑦ 講演助成金

当財団が定めた27の学会（長）、並びに当財団の理事・監事・評議員に候補の推薦を依頼し、国際会議の開催時期に応じて、四半期毎に年4回申請を受理し、17件を受付け、選考担当理事4名及び選考委員長で構成される審査会で審議し、常務理事が決裁し、17件を採択した。

⑧ 若手研究者海外派遣助成金

若手研究者海外派遣助成金は、候補者35件の中から26件を採択した。

四半期毎に年4回申請を受理し、選考担当理事4名および選考委員長で構成される審査会で審議・決定された。

⑨ 特定研究助成金

平成24年6月に第33回内藤コンファレンス『酸素生物学～酸素濃度に対する生物応答とその制御破綻による疾患～』、同10月に第34回内藤コンファレンス『感染・炎症・免疫』を開催し、それぞれの組織委員会においてポスター発表者の中から10件を選出し、各内藤コンファレンスとも、10人に500万円、総額1,000万円を助成した。加えて平成25年度に開催される第35回内藤コンファレンス『ユビキチン-プロテアソームシステム：メカニズムから病態まで』の組織委員5人に900万円、第36回内藤コンファレンス『分子からみたエネルギーバランスと摂食行動の制御』の組織委員5人に900万円、合計10人に総額1,800万円を助成した。

公募助成金の応募件数と採択件数、助成金額は次のとおりであった。

## 助成金の実績

科 目	申請数	採択件数	採択率	予 算	贈呈額
科学振興賞（含金メダル）	10 <sup>件</sup>	1 <sup>件</sup>	10%	10,500,000 <sup>円</sup>	10,576,555 <sup>円</sup>
科学奨励金・研究助成	334	100	30	300,000,000	300,000,000
科学奨励金・若手ステップアップ研究助成	20	3	15	15,000,000	14,000,000
（平成23年度からの継続分）	3	3	100	8,000,000	8,000,000
海外学者招聘助成金	7	7 <sup>*1</sup>	100	10,000,000	4,100,000
海外研究留学助成金	74	15	20	45,000,000	45,000,000
女性研究者研究助成金	70	20	29	40,000,000	40,000,000
（平成22年度からの継続分）	5	5	100	15,000,000	15,000,000
（平成23年度からの継続分）	10	10 <sup>*2</sup>	100	20,000,000	20,000,000
若手研究者海外派遣助成金	35	26	74	10,000,000	8,050,000
特定研究助成金	127	30	24	28,000,000	28,000,000
講演助成金	17	17	100	7,000,000	8,500,000
合 計	712	237	33	508,500,000	501,226,555

\* 1 決定後、1件辞退あり。

\* 2 平成24年に辞退あり。

以上、公募9事業において、申請712件に対して237件を採択し、総額501,226,555円を助成した。

全ての助成金の受領者一覧表を **添付資料** として巻末に掲載した。

## （2）助成事業以外の事業

### ① 講演事業（定款第4条第1項第7号）

#### a. 第33回内藤コンファレンスの開催結果

平成24年6月26日（火）午後から6月29日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼガトーキングダム サッポロにおいて、東北大学大学院医学系研究科 教授 山本 雅之先生を組織委員長として、第33回内藤コンファレンス『酸素生物学～酸素濃度に対する生物応答とその制御破綻による疾患～』を開催した。平成24年度の費用総額は2,347万円であった。

#### b. 第34回内藤コンファレンスの開催結果

平成24年10月16日（火）午後から10月19日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼガトーキングダム サッポロにおいて、日本生物科学研究所 常務理事 笹川 千尋先生を組

織委員長として、第34回内藤コンファレンス『感染・炎症・免疫』を開催した。平成24年度の費用総額は2,510万円であった。

c. 第35回内藤コンファレンスの開催準備

平成25年7月9日（火）午後から7月12日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロにおいて、東京都医学総合研究所 所長 田中 啓二先生を組織委員長として、第35回内藤コンファレンス『ユビキチン-プロテアソームシステム：メカニズムから病態まで』を開催するため、組織委員会を編成しプログラムをまとめた。開催準備費用として、平成24年度は、118万円を支出した。

d. 第36回内藤コンファレンスの開催準備

平成25年9月10日（火）午後から9月13日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロにおいて、産業医科大学医学部第1生理学教室 教授 上田 陽一先生を組織委員長として、第36回内藤コンファレンス『分子からみたエネルギーバランスと摂食行動の制御』を開催するため、組織委員会を編成しプログラムをまとめた。開催準備費用として、平成24年度は、120万円を支出した。

② 内藤記念くすり博物館での企画展示

理事会での承認を得て、内藤記念くすり博物館での資料収集・展示事業として企画展『江戸のくすりハンター～小野蘭山～採薬を重視した本草学者がめざしたもの～』を開催し、399万円を支出した。

③ 広報誌「内藤財団時報」の発行

本誌発行の目的は、当財団の設立趣旨と研究助成事業等の活動内容を公表し、大学・研究機関等及びご支援を受けた寄附者など多くの財団関係者に、当財団への理解を促すとともに、定期的に活動内容のレビューを行うことにより、多方面からの継続的な支援を願うことにある。

第90号（平成24年9月5日）及び第91号（平成25年3月19日）を発行し、寄附者、全国の研究機関、当財団の役員等関係者、助成金受領者、報道関係、他財団等に配布した。

\*『内藤財団時報』第90号……………B5判90頁、2,400部、103万円

\*『内藤財団時報』第91号……………B5判103頁、2,600部、125万円

合計228万円を支出した。